

普通新誌獨逸新聞抄譯
煙草委員會審問書

3003



414
A2251



普通新誌抄譯

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈

平田東助譯

七十八年八月一日
於テ癸克

從來獨逸ニ於テハ烟草專賣政府專賣ノ権ヲ握ルノ制ナカリシニ聯邦
 大政府之事務漸ク更張ニ至ルニ隨ヒ費用亦勢ヒ增加セサルヲ
 得サルニ及ヒ過日癸克ノ本誌ニ乘スル如ク佛及奧ノ制ニ倣ヒ
 烟草專賣ヲ行ハント欲スルノ議起リ遂ニ委員ヲ設ケ左ノ審
 査條件書ヲ議定セシメリ八月十六日癸克「キユル」新聞ニ曰ク
 一昨十四日柏林聯邦議事局ニ於テ烟草審查書ノ議アリ該書ハ
 畧ハ大部ニシテ凡ソ百四十葉ニ下ラス首ノニ烟草作業製造及
 買賣ニ係ル審問書ヲ載セ既ニ宰相「ビスマル」公ノ見聞ヲ經シ
 モノ云々是レ「因テ考フレハ委員ノ審查漸ク結局ニ至レルカ如
 ク後号ノ新誌ニ於テハ必ス其詳悉ヲ載スルヲアルヘシ今左ニ

唯々本号載スル所ノ作業審査ノ部ヲ譯シ尊覽ニ呈ス
 烟草審査

内國烟草作業ノ事ニ關シ審査小委員ヨリ出セル審問條件書ハ
 大委員會議ニ於テ僅小ノ改正ヲ受ル後決議セラレタリ其條件
 二曰ク

第一問

千八百七十五年ヨリ同七十七年ニ至ル三年間ニ於
 テ烟草作業ノ人負幾何ナリシ歟
 此ノ期限間ニ於テ烟草ヲ種植セル園圃ノ總坪數ハ
 年々幾何ニ至リシ歟
 烟草作業人毎口ニ就テ果テ幾何ノ平均坪數ニ當ル
 歟
 右檢問ノ條件ハ坪數ニ有税無税ノ區別ヲ記ルシ答
 フヘシ

第二問

右三ヶ年中各年ノ計算ニ於テ左ノ坪數ニ準スヘキ
 烟草作園ノ箇數幾何

- 一 五十方ハト此ニ至ル 一ハト此ニ至ルハ我カ三尺三寸強ニ至ル
 - 二 一ハト此ニ至ル 一ハト此ニ至ルハ我カ三尺三寸強ニ至ル
 - 三 二ハト此ニ至ル
 - 四 三ハト此ニ至ル
 - 五 四ハト此ニ至ル
 - 十 一ハト此ニ至ル
- 一ハト此ニ至ル以上

第三問

右坪數ニ準スヘキ作園每等ノ總坪數ヲ擧ク
 千八百七十七年ニ於テ其經界内烟草作園ノ左ノ總
 坪數ニ至ル町村ノ數幾何

二十五「アール」ニ至ル
 七十五「」ニ至ル
 一「」ニ至ル
 一「」ニ至ル
 一「」ニ至ル
 二「」ニ至ル
 五「」ニ至ル
 右坪数ニ準スヘキ作園每等ノ總坪数ヲ擧ク
 千八百七十七年ニ於テ其管轄内烟草作園ノ左ノ總
 坪数ニ至ル大區ノ数幾何
 三「」ニ至ル
 五「」ニ至ル
 十「」ニ至ル
 但シ第一ヨリ第四ニ至ル間ノ増補トシテ千

第四問

八百七十七年ニ於ル烟草作園ノ多寡ヲ圖畫
 シテ出スヘシ又十「」トアル以上ノ作園
 ニシテ相連接スルモノハ青色ヲ以テ畫線シ
 處々相分離スルモノハ赤色ヲ以テ畫スヘシ
 右坪数ニ準スヘキ作園每等ノ總坪数ヲ擧ク
 第一ヨリ第四ニ至ル間ノ統計寮全圖ノ計表ヲニ
 議スヘク是レニ関スル必要ノ書類ハ同局ヨリ州
 縣諸廳ニ令レ集メシム
 烟草園圃ノ中又他ノ植物ヲ種ル歟(即チ如何ノ植物
 歟)
 其混種スル植物ノ量ハ幾何ヲ且此混種ハ農事上如
 何ノ關係アル歟
 烟草作業ハ經濟上及農業上ニ於テ果テ如何ノ益ア
 第六問

第五問

第六問

ル歟

第七問

烟草作業ハ農民中重ニ如何ノ社會(小農カ大農カ)ニ在ル歟

烟草ハ又收穫分取(例ハ半額)地主ト小作人トノ約ヲ以テ作業スルアル歟

烟草作業ニ就テ彼使スル雇人ノ數概シ幾何
多ク田園ヲ所有スル者ニシテ烟草ヲ作ルニ尚ホ幾何ノ利益アル歟

第八問

重ニ何種ノ烟草(獨逸烟草カ「グンヂ」カ「カウ」ルギ)ニ

烟草名稱ナリ種類ヲ種ル歟

烟草幹上ニ生スル枝ヲ刈取リ以テ再受ノ收穫ヲ禁スルキハ是レニ因テ經濟上如何ノ害ヲ致スヘキ歟

第九問

借地料肥料耕耘手數等一トクトアルル烟草作業ノ

第十問

費長摘採ヨリ乾枯ニ至ル費用ノ明細及總計ハ幾何
千八百七十五年ヨリ七十七年ニ至ル各年ニ於テ每一トクトアルル平均獲ル所ノ烟草ハ乾葉幾何貫ニ至ル歟

第十一問

烟草ノ種類ニ随テ收穫ニ差違アル歟而其差違幾何
審査官ヲシテ豫メ烟草作園ニ就テ其乾枯ノ後ト當ニ收穫スヘキ數量ヲ檢セシムルキハ設令ニ精細ナラサルモ答ホ之レヲ算シ得ヘキ歟
烟草ヲ種ユルニ順序等列ヲ定ムルキハ此ノ計算ヲ容易ナラシムルニ足ル歟
種苗ノ順序等列ハ固ヨリ錯雜ナラサラシムルモ其列置ノ模様ハ全ク作人ノ随意ニ委ヌルキハ尚ホ幾何カ作人ノ不便ヲ生セン歟

第十二問

獨逸ニ於テ植ユル烟草ノ性質ハ近來善良ニ趣クヤ否

「ボートン」「エルサツス」「ロートリンゲン」及「ラインハル」等ノ地方ニ産スル烟草ノ良否ヲ相比較セハ如何ノ差違アル歟

獨逸烟草ヲ以テ米國産ノ烟草ニ比セハ其良否如何ノ差アル歟

第十三問

終ノ三年間七十五年ヨリ七十七年マテ其各年ニ於テ乾枯セル烟草一「セント子」ノ中等及最高最下ノ價ハ幾何ナリシ歟

持ニ「エルサツス」「ロートリンゲン」ニ向テ一千八百七十一年ヨリ同七十七年ニ至ル間ニ於ケル烟草ノ價ト尚ホ烟草專賣ノ制ヲ受ケシ終期此州ハ元ト佛ニ

第十四問

但新旧ノ價トモ皆一「セント子」ノ割合ヲ用ユヘシ烟草ヲ作ルニ蒂ニ同烟ヲ用ユル歟又ハ作換フレイトウシツニ年々作

第十五問

烟草作ハ地ヲ瘠セシムル歟
從來烟草作ニ使用シ又ハ是レニ適當ナル地ト其他

第十六問

地トハ設令ヒ両方ノ地味及地勢ハ相齊キトモ價位ニ差違アル歟
持ニ「エルサツス」「ロートリンゲン」ニ向テ 烟草專賣

第十七問

ノ制止ム後テ烟草烟ノ價ハ減セシヤ否ヤ
千八百七十三年以後烟草作ノ減少セルハ抑々如何ノ原由ニ係ル歟

第十八問

烟草ノ代リニ亜麻、菜種、砂糖、大根以テ砂糖ヲ製スルモノ穀物、
ヤカタラ芋等他ノ菜葉ヲ種ルハ又同様ノ利益ヲ
得ル能ハカル歟

千八百七十三年以後烟草作業ヲ止メシ者ハ如何ノ
菜葉ヲ代ヘ作ル歟

第十九問

烟草作業ヲ禁止スルハ農事上及經濟上ニ於テ蓋
シ害アル歟且如何ノ害歟

此ノ農事上ノ害ヲ貨幣ニ積ラハ每一ヘクトアトル
ニ就テ幾何ナル歟

第二十問

烟草專賣ヲ行フ諸國ニ於テ通常用ユル如キ制限ヲ
置キ烟草作業請求人ノ中能ク此ノ制限ヲ遵奉シ得
ヘキ者ニ限り作業ヲ許スハ是レニ因テ内國烟草
作ノ量額ヲ減スルニ至ラサルヘキ歟

第二十一問

既ニ収獲シタル烟草ハ如何ノ地ニ之レヲ乾ス歟別
ニ之レカ為ニ設クル乾小屋(其数ヲ擧ク)アル歟又ハ
納屋、檐前(乾晒ノ具ヲ備フルモノト備ヘサルモノト
ヲ合シ)或ハ畑ニ於テ乾ス歟

乾枯スル場所ハ作人ヨリ別ニ之レヲ借ルモノナ
ル歟

第二十二問

乾枯セル烟草ノ量額ヲ其乾場ニ就テ檢スルハ能
ク実量ヲ得ヘキ歟

此ノ検査ノ為ノ一定ノ規則ヲ設ケ懸繩ニ懸クル烟
草ノ葉數ハ作人ノ勝手次第タリト雖モス毎繩同一
ノ數タルヘシトナスハ作人ニ於テ其間不便ノ事
アル歟

第二十三問

青葉ノ烟草ハ乾枯ニヨリテ幾何ノ量ヲ減スルモノ

欵

既ニ十分乾枯セル烟草ハ蒸熟蘇州ニ於テハ烟草ヲ蒸ス州ニ於テハ烟草ヲ見ユ未
タル何ノ方且何ノ故セシムルヲナク久ク之レヲ貯フ
ルハ尚ホ其量ヲ減スル欵

第二十四問

乾枯シタル葉烟草ハ之レヲ賣却スルマラニ尚ホ如
何ノ手数を要スル欵

土葉、砂葉ノ烟草ノ良否ナルモ、ヲ撰ミ去リ残余ノモ
等凡ソ懸繩ニ懸クヘカラサル葉ハ賣却ノ際マテ如
何ノ取扱ヲナス欵

第二十五問

其年収獲ヤル烟草ノ賣却ハ通例何月日頃ヨリ始リ
何月日頃ニ終ル欵

烟草作人ハ此ノ通例ハ賣却終期ノ後ニ至ルマテ其
収獲ヲ賣ラス尚ホ保貯スルヲハ屢々之レ有ル欵

第二十六問

蒸熟スル烟草ノ数量ハ凡ソ幾何ニ至ル欵

元來蒸熟ハ作人ニ於テ經濟上ニ必要ナルモ、

第二十七問

収獲ヲ賣拂フニ必ズ一定ノ時期ニ於テセシムルモ
作人ノ經濟上更ニ妨害ヲ生セサラン欵

斯ノ時期ハ其歲末翌年四月一日七月一日又ハ十月
一日等何レヲ良トナサレ欵

第二十八問

作人ハ其葉烟草ヲ通例誰レニ賣却スル欵

持リ烟草商人及製造人ノ買出人ニミ賣却スル欵又ハ

直チニ商人及製造人ニ賣ルヲアル欵

直チニ外國ニ輸出スルヲアル欵

又唯ニ乾枯セルノミニシテ未ダ精製セサル烟草ノ

一小量ヲ以テ直チニ烟草消費人スルモ、用ニ賣リ

共ルヲアル欵

第二十九問 作人ハ其収獲ノ一部ヲ自己家用ノタメニ遺シ貯ル歟

斯ノ遺シ貯ル量額凡ソ幾何

第三十問

賣却セル烟草ハ作人ヨリ之レヲ商人ニ送附スル歟

將タ商人自ラ之レヲ運ビ去ル歟

作人ヨリ乾枯セル上葉、砂葉、屑葉等ヲ送附スルニ通

常如何ノ荷作リヲナス歟

第三十一問

買人ニ烟草ヲ送ル前作人ノ家又ハ烟草作地ニ於テ

町村又ハ組合用秤ヲ用ヒ町村又組合秤中秤ヲ備ヘ置キ一般ノ用ニ供スルヲ

行季ヲ一々秤量スルヲ通常トナス歟

或ハ商人ノ手ニ落ル後始メテ秤量スル歟

如何ノ烟草作地ニ於テモ不都合ナク能ク秤量レ得

ヘキ歟

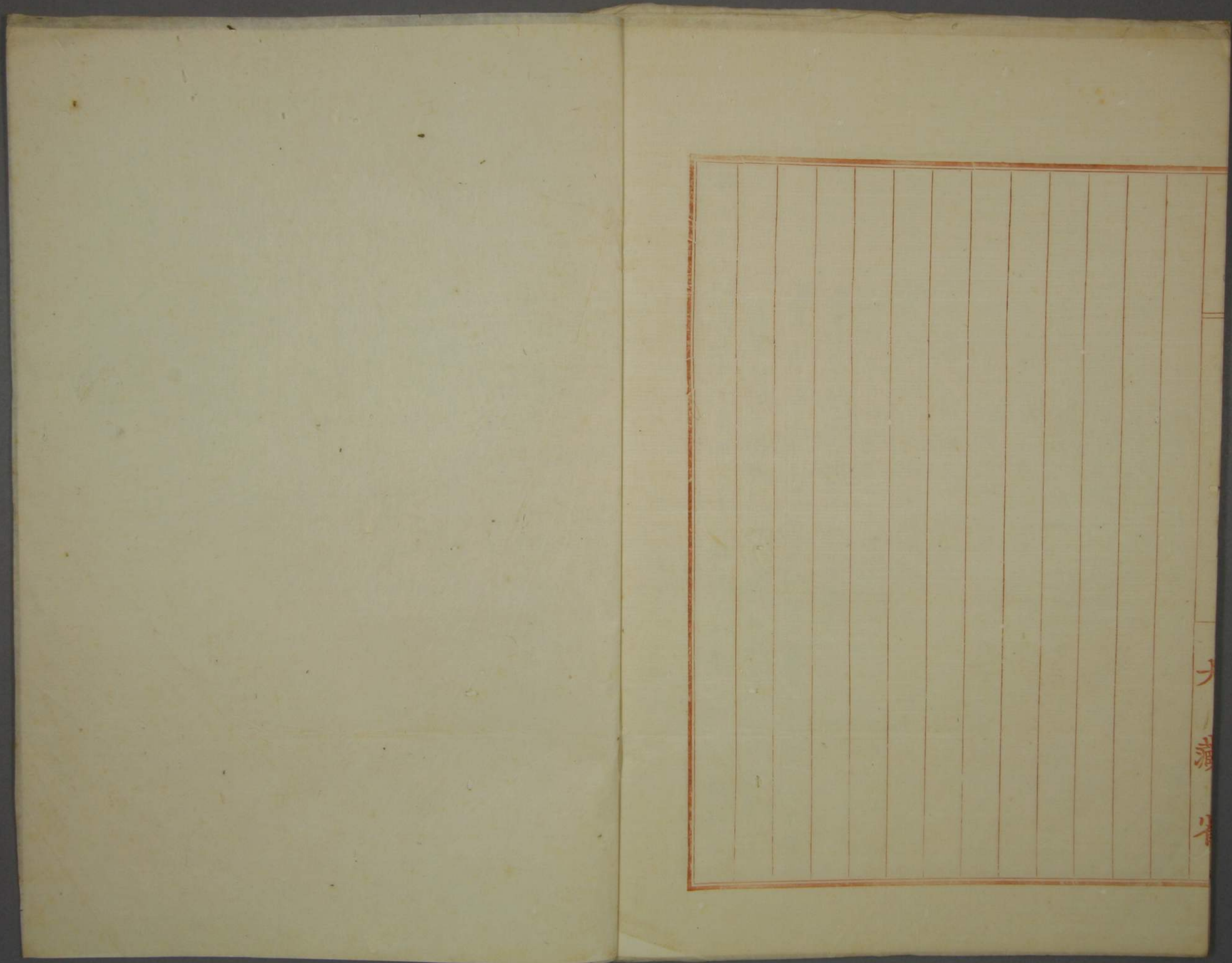
第三十二問

商人ヨリ買取リタル烟草ノ代價ヲ作人ニ拂渡スハ

通常如何ノ時期ニ在ル歟

第五ヨリ第三十二ニ至ル問題ハ後チ設立スヘキ地方

委員ヨリ答弁セシムヘシ



大
清
卷

